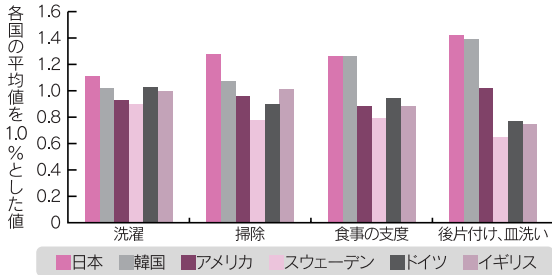


家事は誰が

VOL.14

内閣府「男女共同参画社会に関する国際比較調査」(平成十四年度)によると、洗濯・掃除などの家事について、日本では妻が分担する割合が他の国よりも多くなっています。アメリカ・スウェーデン・ドイツ・イギリスでは、妻の比重が最も多いものの、家族全員で行うとの回答が多く、相対的に妻の家事負担率が低くなっています。これに対し、日本・韓国では妻に集中しており、家族全員で行うと回答した人の割合は、他の国と比べて極端に低くなっています。日本・韓国以外の国では、家事が家族全員で分担されることで、妻の家事負担が軽くなっています。

家事における妻の分担状況



内閣府「男女共同参画社会に関する国際比較調査」(平成14年度)、「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成14年7月)より作成。

日本の変化は他国に比べて小さくなっています。特に食事の支度を妻がする割合は、他のすべての国で15・8から20・7%と大きな減少を見せていますが、日本では2・5%とわずかしこ減少していません。「家事は、家族全員で」が世界基準になりつつある今、家庭内で夫婦共同参画と併せて、子どもの手伝いのさせ方について考えることも必要かもしれません。

教育夢発信

～安心・安全な家庭・学校・地域を目指して！～

生徒指導トライアングル活動推進事業



平成十五年度に、県から泉中校区と駄知中校区が「生徒指導トライアングル活動推進事業」の指定を受けました。これは、家庭・学校・地域がそれぞれ子どもと向き合い、児童・生徒の問題行動に対する危機意識を高め、問題行動の未然防止を図り、健全育成に取り組むことを目的とした事業です。

この事業は、家庭・学校・地域の代表者が、それぞれの立場で具体的な活動を行い、定期的に行う会議で情報の交換をします。

今年で三年目を迎えるこの事業は、現在、二校区に加え土岐津中校区でも活動を行っています。将来的には、すべての中学校区で活動を立ち上げ、子どもたちが健全に育っていく環境づくりを目指しています。

泉中校区では、「泉町の教育問題を考える会」が発足し、地域の方や

こういった地域での活動が、不審者から子どもを守ったり、子どもたちの行動に歯止めがかかったりすることを願っています。そして、それぞれの地域で子どもと大人が明るくあいさつを交わし、子どもたちが安心して生活できる家庭・学校・地域になっていくことを願っています。

PTAと学校が一緒になったあいさつ運動の展開、駅前を中心とした防犯パトロールの実施など、子どもたちの交流を図りながら、地域の防犯活動をしています。

また、駄知中校区では、PTAの方が地域の方(クリーニング店や陶器商の方など)と協力して、地域を巡回しながら日常的な防犯活動をしています。

土岐津中校区では、育成会を中心として、夏休みの夜に防犯パトロールをしたり、定期的にあいさつ運動を計画しています。

